

【組入投信の運用レポート】

Gグロース

本資料は、変額年金保険の特別勘定に組入れられている投資信託についての運用状況を開示するための参考資料であり、募集を目的とするものではありません。また、将来の運用成果を保証するものではありません。
ご契約者が投資信託を直接保有しているものではありません（投資信託を直接購入することはできません）。特別勘定に組入れられている投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。
本資料は、日興アセットマネジメント株式会社による運用報告を、第一生命保険株式会社より提供するものです。このレポートの最終ページには、諸費用やご契約者の負うリスクなどぜひご確認ください内容について記載しています。必ず最終ページをご覧ください、内容について十分ご確認ください。

（データは2025年2月28日現在）

【純資産総額】 114.09億円
【決算日】 原則3月25日
【設定日】 2001年4月20日

【基準価額】 55,150円
【信託期間】 無期限
【為替ヘッジ率】 0.0%

<運用担当者のコメント>

2月のグローバル株式は下落しました。米国はトランプ政権によるカナダ・メキシコへの関税発動が延期となった一方、中国に対しては追加関税を発動したことで市場の警戒感が強まりました。その後、急進的な関税導入に対する過度な懸念が和らいだほか、好調な米企業業績を支えに堅調な動きとなりましたが、米関税強化に伴う景気減速懸念からリスク回避の売りが広がり下落に転じました。欧州は利下げ継続の見通しが支えとなったことに加え、好業績銘柄が上昇をけん引し、主要国の株価指数は高値圏での推移が続きました。アジアは中国当局による経済政策期待を支えに底堅く推移しましたが、下旬は米中対立懸念が重荷となりました。

当月は、非保有としていた米国の電気自動車メーカーの株価が下落したことや、ドイツのエンジニアリング・グループの株価が上昇したことはプラス寄与となりました。一方で、米国に本社を置く世界的なEコマース会社、世界的なインターネット検索プロバイダーの株価が下落したことはマイナス寄与となりました。投資行動としては、当月はフランスの航空機及び軍用機器メーカーを購入しました。一方で、米国の画像処理半導体（GPU）メーカー、米国の配車サービス会社を売却しました。

2月末現在、ベンチマーク対比でオーバーウェイトとしているセクターは、一般消費財・サービス、コミュニケーション・サービス、情報技術などで、対してアンダーウェイトとしているのは、金融、生活必需品、エネルギーなどです。

今後も銘柄選択ならびにセクター選択を重視し、世界のリーディング・カンパニーの経営陣との面談を続け、社内のリサーチ資源を幅広く活用し、徹底的なボトムアップ調査を行なっていきます。世界的な競争力を有し、地域市場におけるリーダー格の、質の高い成長型企業を選別し、投資を行ないます。

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

<分配金込み基準価額のパフォーマンス>

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-5.80%	0.34%	11.09%	13.79%	63.07%	490.35%
指数	-5.16%	-1.06%	7.80%	14.22%	71.56%	540.22%

※基準価額のパフォーマンスは、当ファンドに分配実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

<分配金込み基準価額の指数化グラフ> (2022年2月28日を100として指数化)



※基準価額は当ファンドに過去3年間、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※「指数」は、MSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み・円ヘッジなし・円ベース）です。MSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み・円ヘッジなし・円ベース）に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

<分配金実績（税引前・1万口当たり）>（円）

20・3・25	21・3・25	22・3・25	23・3・27	24・3・25
100	100	100	100	100

<資産構成比>

国内株式（先物含む）	5.1%
外国株式（先物含む）	93.6%
C B	0.0%
公社債	0.0%
現金その他	1.3%

<株式組入上位5ヵ国>

	国名	比率
1	アメリカ	66.7%
2	日本	5.1%
3	オランダ	5.0%
4	アイルランド	3.3%
5	フランス	2.9%

<株式組入上位10銘柄>（銘柄数 56銘柄）

	銘柄	通貨	業種	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカドル	半導体・半導体製造装置	6.4%
2	AMAZON.COM INC	アメリカドル	一般消費財・サービス流通	6.2%
3	APPLE INC	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	4.8%
4	MICROSOFT CORP	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	4.7%
5	ALPHABET INC-CL C	アメリカドル	メディア・娯楽	4.5%
6	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカドル	メディア・娯楽	3.2%
7	ELI LILLY & CO	アメリカドル	医薬品・バイオテクノロジー	3.1%
8	BROADCOM INC	アメリカドル	半導体・半導体製造装置	2.6%
9	NETFLIX INC	アメリカドル	メディア・娯楽	2.4%
10	MASTERCARD INC - A	アメリカドル	金融サービス	2.4%

※「株式組入上位5ヵ国」「株式組入上位10銘柄」の比率は、マザーファンドの状況で、対純資産総額比です。

「資産構成比」はマザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率です。

※このレポートでは基準価額を1万口当たりで表示しています。

※このレポートのグラフやデータ等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

特にご確認いただきたい重要事項【引出機能付災害 4 割加算型変額年金保険】

■運用リスクについて

- この商品は、年金額、積立金額、解約返還金額、給付金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて増減する仕組みの、保険料一時払方式の変額年金保険（生命保険）です。引受保険会社は、第一生命保険株式会社です。
- ファンド（特別勘定）での資産運用においては主に投資信託に投資しますので、その運用においては運用リスクを負うことになります。この商品では、資産運用の成果が直接、積立金額、解約返還金額、死亡給付金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクがともにご契約者に帰属することとなります。なお、積立金額、解約返還金額、年金原資、年金額に最低保証はありません。
- 積立金額は、ファンド（特別勘定）で運用・管理されます。ファンド（特別勘定）は、実質的に国内外の株式・債券等を投資対象とするため、「株価の下落」「金利の上昇による債券価格の下落」「円高による外貨建資産価格の下落」等が基準価額の下落要因となります。
- 基準価額の下落は直接、積立金額、解約返還金額、年金原資などに反映されるため、積立金額、解約返還金額、年金原資が一時払保険料相当額を大きく下回ることがあり損失が生じるおそれがあります。

■ご負担いただく諸費用について

お客さまには以下の諸費用の合計額をご負担いただきます。

(1) 運用期間中

①すべてのご契約者にご負担いただく費用

項目	金額	備考
保険契約関係費 死亡給付金のお支払いや、ご契約の締結・維持に必要な費用です。	ファンド（特別勘定）の資産総額に対して年率 1.551%	ファンド（特別勘定）の資産総額に対して年率 1.551%/365 日を毎日控除します。
運用に関わる費用 各ファンド（特別勘定）の運用に関わる費用として、投資対象となる投資信託にかかる信託報酬などです。	信託報酬は、（年率）1.76275%が上限です。 （別表をご覧ください。） ※運用手段の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。	投資対象となる各投資信託の信託報酬は、信託財産の額に対して所定の率（年率）/365 日を毎日控除します。

※上記の信託報酬の他、以下の諸費用を間接的にご負担いただくことがあります。なお、売買委託先、売買金額等によって手数料率が変動する等の理由から、これらの計算方法は表示しておりません。

- ・有価証券の売買時の売買委託手数料および有価証券取引に係る手数料・税金、先物・オプション取引に要する費用、信託財産留保額、当該手数料にかかる消費税等相当額および外貨建資産の保管等に要する費用（マザーファンドで運用する場合も同様）等

（別表）各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の信託報酬等

特別勘定の名称	主たる投資対象とする投資信託の信託報酬等※	特別勘定の名称	主たる投資対象とする投資信託の信託報酬等※
日本株グロースファンド	年率 0.957%（税抜 0.87%）を上限	米ドル短期ファンド	管理報酬等 年率 0.91%（上限）
日本株バリューファンド	年率 1.65%（税抜 1.50%）	日本リートファンド	年率 0.704%（税抜 0.64%）
日本小型株ファンド	年率 1.463%（税抜 1.33%）	マネーファンド	元本総額に対し年率 1.0%以内
日本株インデックスファンド	年率 0.3685%（税抜 0.335%）	Dバランスファンド	年率 0.29975%～1.76275%（税抜 0.2725%～1.6025%） うちアセットマネジメント One 株式会社分の費用は 0.29975%程度（税抜 0.2725%程度）です。
グローバルグロースファンド	年率 1.43%（税抜 1.30%）		
グローバル債券ファンド	年率 0.77%（税抜 0.70%）		

※上記信託報酬は、2024 年 4 月現在の数値であり、運用会社により今後変更され引き上げられることがあります。なお、（ ）内は消費税抜きの額を表示しています。

②特定のご契約者にご負担いただく費用

項目	金額	備考
保険契約維持費 基本保険金額が 200 万円未満の場合にかかる費用です。	毎月 400 円	月単位の契約応当日（契約日を含みます）始に積立金から控除します。
解約控除 契約日（増額日）から経過 10 年未満で解約・減額された場合にかかる費用です。	契約日からの経過年数に応じ、基本保険金額に対して 6.0%～0.6%の解約控除率を乗じた金額	解約・減額時にお支払いする積立金から控除します。

(2) 年金受取期間中

項目	年金の種類	金額	備考
保険契約関係費	確定年金	支払年金額に対して年率 1.0%	第2回以後の年金の年金支払日に責任準備金から控除します。
	保証期間付有期年金		
	保証期間付終身年金	保証期間中：支払年金額に対して年率 1.0% 保証期間経過後：支払年金額に対して年率 2.0%	

※上記の率等は年金支払開始日の時期により異なることがあります。

■その他ご留意いただきたい事項について

- この商品では、年金原資、年金額に最低保証はありませんので、お受取りになる年金の合計額が一時払保険料相当額を下回ることがあります。そのため損失が生じるおそれがあります。
- この商品では、ご契約日（増額日）から 10 年未満に解約・減額をされますと解約控除がかかります。また、解約返還金額には最低保証はありませんので、一時払保険料相当額を下回ることがあります。そのため損失が生じるおそれがあります。